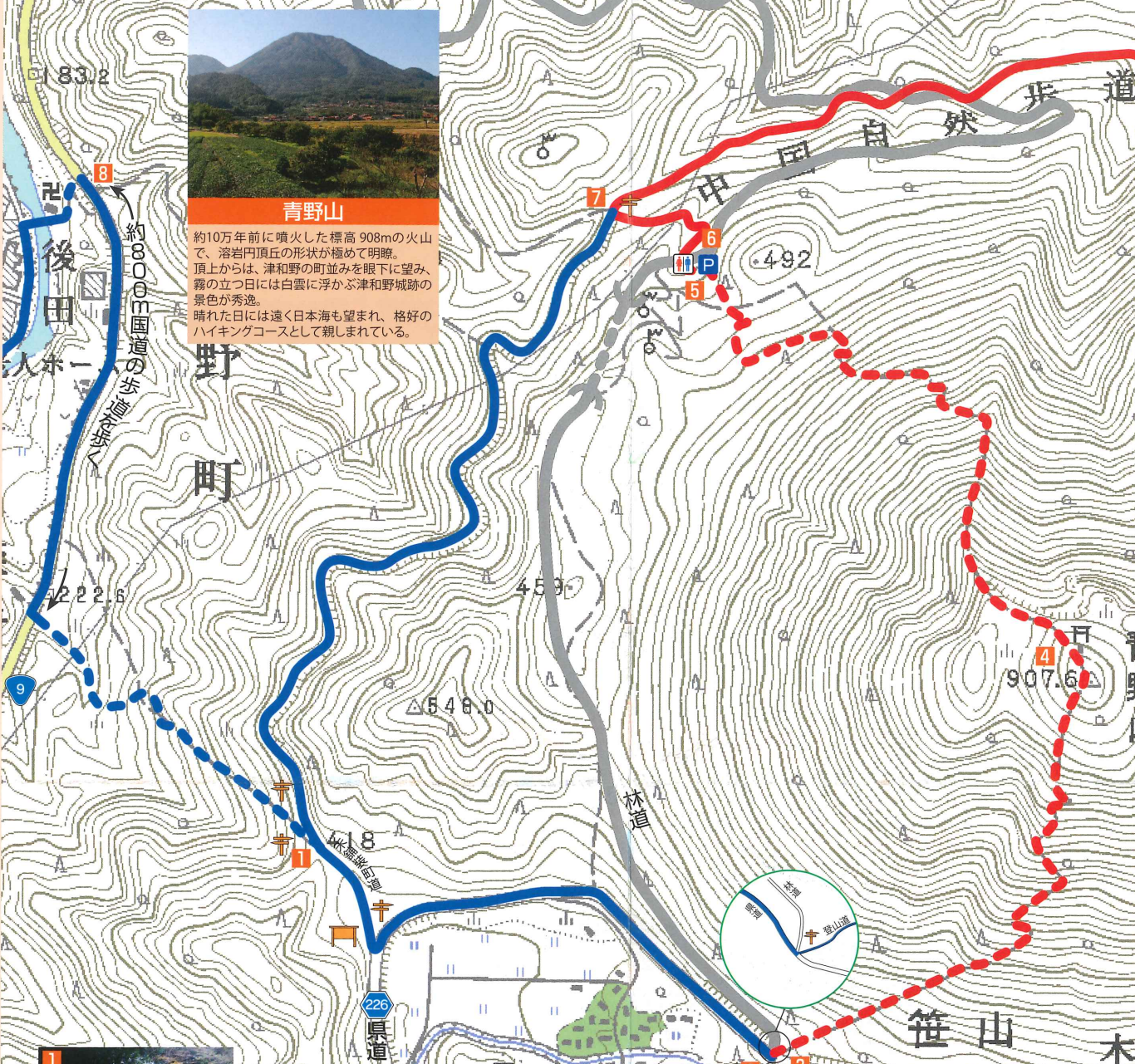


# 青野山モデルコース



1 歩道(六地藏)と町道青野山線分岐点	2 県道226号から青野山登山道(笹山登山口)分岐	3 青野山登山道(笹山登山口)入口	4 青野山からの眺望	5 青野山登山口(青野河原ルート入口)	6 青野河原駐車場	7 町道青野山線と青野河原駐車場への分岐	8 天神山入口
鳥居が目印で林道から青野山登山道へ通じる。林道を進めば、青野河原駐車場へ通じる。			津和野城跡を眼下に望み、津和野の町並みも一望できる。	青野山登山の起点となる駐車場。乗用車30台程度駐車可能であり、トイレも完備されている。			



# 津和野城モデルコース



中国自然歩道 (車道区間)	—
中国自然歩道 (歩道区間)	---
中国自然歩道 モデルコース	---
その他の中国自然歩道 (車道区間)	---
その他の中国自然歩道 (歩道区間)	---
その他のトレッキングコース	---
駐車場	P
トイレ	♂ ♀
案内看板	+
指導標	+

8 鷺原八幡宮	5 津和野城跡	4 津和野城跡石垣	3 太鼓谷稲荷神社	2 津和野町役場方面から太鼓谷稲荷神社への参道入口
鎌倉時代、城の守護神として城山の南西麓に創建された八幡宮。鎌倉の鶴岡八幡宮のものを模したという流鏝馬(やぶさめ)馬場が当時の原型をとどめている。これは流鏝馬の馬場としては日本で唯一現存するものとされ、周辺は鷺原公園として桜の名所としても知られているところ。	鎌倉時代に吉見頼行公が30年かけて築城したもので三本松城とも呼ばれている。今では石垣や石畳が残るのみであるが、そのスケールの大きさに圧倒される。頂上に登れば正面に秀峰青野山、眼下に津和野の町並みが広がり、さらにSLが走る様はまるでミニチュアの世界。	津和野城跡からの眺望	日本五大稲荷の一つ、日本で唯一「稲成」と表記され、願成成就の願いが込められている。参道に連なる朱の鳥居が壮麗。	7月の祇園祭の神事として奉納される「鷺舞」の舞台である由緒ある神社。もとは京都祇園会の風流であったもので、大内氏によって山口に伝えられた。これを、天文11年(1542)津和野の吉見氏がこの地に招来したことに始まる。二羽の鷺に扮し優雅に舞う舞は国指定重要無形民俗文化財に指定されている。
9 鷺原八幡宮入口	6 鷺原の大杉	10 道の駅津和野温泉 なごみの里	1 弥栄神社	
	鷺原八幡宮の裏山にある大杉。樹齢600年で高さ40m、周囲8.7m。	水辺空間に囲まれた津和野の道の駅。天然ラドン温泉、レストラン、体験工房など、魅力がいっぱい。		

